

大分大学医学部看護学科研究アンケート調査のお願い

実施主体：大分大学医学部看護学科
調査協力：由布市湯布院地域振興課

いつも、由布市の防災減災の取り組みにご協力いただきありがとうございます。

さて、大分大学減災・復興デザイン教育研究センター（CERD）の活動に参加している大分大学医学部看護学科の学生さんより、学科研究として以下のとおりアンケート調査を行いたいとの依頼がありましたので、ご都合がつく範囲でアンケート調査へのご協力をお願いいたします。

【アンケート調査の目的】

これまで大分大学 減災・復興デザイン教育研究センター（CERD）の学生メンバーとして、防災研修を通じて湯平地区住民の方々と交流してきた中で、住民の皆様の防災やコミュニティに対する意識が保健行動や健康とどのような関係性があるのかという思いをいただき、住民の皆様にアンケート調査のうえ、研究を行いその関係性を明らかにしたいと考えています。

【調査実施にあたって】

この調査は、大分大学減災・復興デザイン教育研究センター（CERD）の指導の下で実施し、また、湯平区長ならびに由布市湯布院地域振興課とも内容・日程等を協議の上、調査を実施させて頂くことになりました。



【調査日程】

令和6年8月1日（木）/8月3日（土）/8月8日（木） 13:00～18:00

上記の日時の中で地域内を巡回しアンケート調査をさせていただきます。

【調査方法】

看護学科学生と担当教授が、上記日程において各ご自宅に訪問させて頂き、アンケート調査を行います。ご都合がつく方はアンケート調査にご協力いただけますと幸いです。

アンケートにかかるお時間は10分以内/1名を考えております。



【対象自治区】

湯平1自治区、湯平2自治区

【調査実施者】

○大分大学医学部看護学科4年 学生 CERD 藤並蓮

○大分大学医学部看護学科基盤看護学講座 健康科学領域 教授 加隈哲也

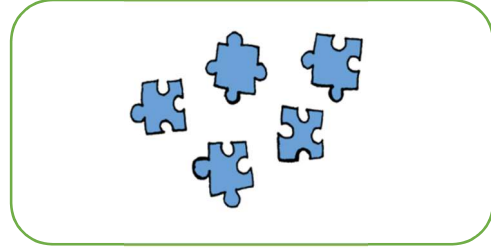


【皆様にお聞きしたいこと】

〈お身体の健康状態について〉



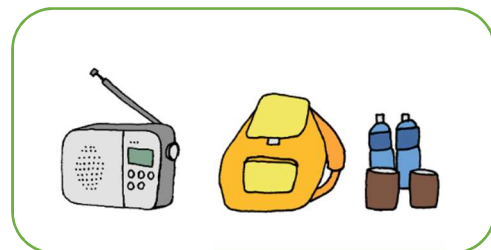
〈こころの状態について〉



〈地域の交流や地域への思いについて〉



〈被災経験と防災意識について〉



【アンケート内容について】

今回は学部での看護研究である為、藤並蓮の卒業論文として活用させていただきます。
また、公衆衛生看護や災害保健の取り組みに貢献すると判断した場合は、学会・論文で発表することも検討しています。本研究結果が、湯平地区の減災・防災や、住民の皆様の心身の健康の増進に資する取り組みとなるよう、鋭意研究に努めます。

この研究は匿名での調査となりますので、住民の皆様のお名前がでることはありません。
研究責任者・実施者はデータを厳重に管理し、個人の特定にならないようにいたします。

ご不明な点などがございましたら、以下までお問合せ下さい。
お手数おかけしますが、何卒宜しくお願い致します。

【調査に関するお問い合わせ先】

□研究責任者：大分大学医学部看護学科 基盤看護学講座 健康科学領域 教授
加隈 哲也（かくま てつや）

□研究実施者：大分大学医学部看護学科 4年
藤並 蓮（ふじなみ れん）

□連絡先：（住所）〒879-5593 大分県由布市挾間町医大ケ丘1-1
（電話）097-586-5033

◆由布市担当：由布市湯布院地域振興課 湯平地域復旧・復興班 秋吉 寅男

◆ 連絡先：0977-84-3111（内線5144）

※新型コロナウイルス感染症が流行しておりますが、調査員は日頃から体調管理を徹底しマスクの着用と手指消毒を励行し、感染防止に努めます。